

「第2回神奈川県・米陸海軍意見交換会」の結果について

本日、県庁において、知事、在日米陸軍司令官及び在日米海軍司令官の三者で、お互いの協力関係や諸課題について意見交換等を行う標記会合が開催されましたのでお知らせします。

1 出席者

神奈川県知事	黒岩 祐治
在日米陸軍司令官	ジェームズ・C・ブーザー・シニア少将
在日米海軍司令官	テリー・B・クラフト少将

2 意見交換の概要

次のとおり意見交換を実施した。

○ ビッグレスキューについて

- ・ 米軍の協力について県から感謝を申し上げるとともに、災害など万が一のために準備しておくことの大切さを相互に確認した。
- ・ 米海軍からは、今年度初めて厚木基地で行われた日米ガイドラインによる実動訓練などについて説明があった。

○ 医療分野の交流

- ・ 米陸軍からは、軍人の健康に関する新しい取組みを進めているので、それから得た情報を県と共有していきたいとの申し出があった。
- ・ 米海軍からは、共済病院やうわまち病院などと良好な協力関係を築いており、急病や重病の患者の搬送や受入れで多大な協力を得ているとの説明があった。また、横須賀海軍病院では、6名のインターンを受入れており、今後、その枠を広げていきたいと考えているとの話があった。
- ・ 県のヘルスケア・ニューフロンティアの取組みや末病の考え方を紹介しつつ、今後の基地内の医療機関と県立保健福祉大学との交流について意見交換した。病気の状態になる前に、対応していく必要があることで一致した。

○ 県内観光について

- ・ 県から観光のガイドブックを紹介したところ、海軍から地元の皆様とふれあうことはよき隣人になることにつながるとの意見があった。
- ・ また、地元の情報提供は、軍人が基地の外で地元の方とふれあうのに大変有益であるとの話があった。
- ・ 陸軍では毎月の新任者へのオリエンテーションでかまがわ国際ファンクラブや県内の観光名所なども紹介しているとの話があった。

○ その他

- ・ こうした意見交換会を重ねていくことは、さらなる信頼関係や協力関係を醸成し、事件や事故の際でも、率直な意見や情報を交換できる体制につながることを確認した。

(問い合わせ先)

神奈川県政策局基地対策部基地対策課

副課長 兄内 045-210-3371

調整グループ 森 045-210-3373